

ソウル市ニュースレター

25周年を迎えるソウルファッションウィーク、ファッション産業における
タッチポイントを広げることでグローバル成長の可能性を高める

January 2025



25周年を迎えるソウルファッションウィーク、ファッション産業におけるタッチポイントを広げることでグローバル成長の可能性を高める

- <2025 F/Wソウルファッションウィーク> 2月5日～2月9日の5日間、DDPを中心にソンス(聖水)、チョンダム(清潭)、ハンナム(漢南)にて開催
- ファッションショー19公演、プレゼンテーション8件...130のブランドと韓国内外からのバイヤー約300人がトレードショーに参加
- DDPで実施される16のファッションショーを直接観覧したい市民のため、招待チケット350枚を先着順にて配布

韓国最大規模のファッションイベント「ソウルファッションウィーク」が、2025年で25周年を迎える。ソウルファッションウィークはこれまで、韓国を代表するデザイナーやブランドの海外進出を支援することで、K-ファッションの底力を世界にアピールするグローバルファッションプラットフォームへと成長を遂げてきた。

これにとどまらず、2025年は韓国ファッション産業の関係者らが一堂に会する「ファッションフォーラム」が初めて開催される。ファッション産業の発展に向けた成功事例の共有など、多彩なファッション産業とのタッチポイント・機会を広げることで、K-ファッションブランドとデザイナーのグローバル成長可能性を高めることを目的としている。

<2025 F/Wソウルファッションウィークは2月5日から9日までDDP、ソンス(聖水)、ハンナム(漢南)、チョンダム(清潭)一帯で開催>

ソウル市は、2025年の秋・冬ファッショントレンドを披露する「2025 F/Wソウルファッションウィーク」を、2月5日(水)から9日(日)までの5日間、トンデムン(東大門)デザインプラザ(DDP)、ソンス(聖水)、ハンナム(漢南)、チョンダム(清潭)を拠点として開催すると発表した。ブランド「ハンナシン(HANNAH SHIN)」のオープニングショーが開幕を告げる今回のソウルファッションウィークは、19ブランドのファッションショー、8件のプレゼンテーション、130ブランドと韓国内外からのバイヤー約300人が参加するトレードショーで構成されている。 ※ トレードショーへの参加を希望する韓国内外のバイヤーは、2月3日(月)までにソウルファッションウィークホームページ(seoulfashionweek.org)を通じて申し込むことができる。

また、今回のソウルファッションウィークには、韓国コンテンツ振興院(KOCCA)が主管するグローバルファッションショールーム「ザ・セレクトツ(The Selects)」の参加も決まっており、さらに豊富なコンテンツを楽しめると予想される。 ※ ザ・セレクトツ(The Selects)は、韓国のファッションデザイナーブランドを海外に紹介し、ビジネス販路の確保を図る海外進出支援プログラムである。

同時に、ソウルファッションウィーク期間中にDDPで開かれる16ブランドのファッションショー(オフショーを除く)を直接観覧することができる市民招待チケットイベントも実施する。各ブランドのファッションショー開始1時間前から、DDPの野外広場にて先着順で計350枚のチケットが配布される。詳細については、ソウルファッションウィークのInstagram(https://www.instagram.com/seoulfashionweek_official/韓国語)で確認できる。

なお、ソウルファッションウィークで披露されるブランドの衣装を一足早く見ることができる公式広報動画が、ソウルファッションウィークのYouTubeチャンネル(www.youtube.com/watch?v=JPGQ4Lev5o81)を通じて公開されている。

2024ソウルウィンターフェスタ、来場客539万人へ光による希望と労いを届けた

- 2024年12月13日(金)～2025年1月5日(日)の24日間、クァンファムン(光化門)・チョンゲチョン(清溪川)一帯の6か所において穏やかな雰囲気の中で開催
- 一部イベントの縮小・キャンセルがあったものの、1日平均22万人が冬の夜の慰めと希望を分かち合った
- ソウル・ランタンフェスティバル(ソルラル(旧正月)連休まで)・ソウル広場アイスリンク(2月9日(日)まで)続けて運営

2024年年末にクァンファムン(光化門)とチョンゲチョン(清溪川)一帯で開催された「ソウルウィンターフェスタ」が、1月5日(日)、さらに力強く希望に満ちた新年を誓いあいながら幕を閉じた。イベントが一部縮小・キャンセルされるなど比較的静かに開催されたが、多くの市民が訪れ、冬の夜に労いと希望を分かち合った。

ソウル市は、2024年12月13日(金)から2025年1月5日(日)までの24日間にわたって開催された「2024ソウルウィンターフェスタ」に、539万人(累計)が来場したと発表した。クァンファムン(光化門)をはじめとする都心6か所のイベント会場を訪れた来場客数であり、前年2023年年末と比べて1日平均約19%増加した。 ※ ソウル・ランタンフェスティバルは2025年1月31日(金)まで、ソウル広場アイスリンクは2月9日(日)まで別途に運営

2025年のウィンターフェスタは、イベントの一部が縮小、延期、キャンセルされたものの、落ち着いた暖かい雰囲気の中で市民に冬の夜の労いと希望を伝える、意義深いイベントとなった。

特に、「サンタ村」をコンセプトにして装飾された「クァンファムン(光化門)マーケット」、5名のアーティストのメディアファサード作品を通じて新年の希望のメッセージ伝える「ソウルライトDDP」が好評を博した。

「ソウルライト・クァンファムン(光化門)」では、初めて実施された国際公募展「ライトアップ・クァンファムン(光化門)」を通じて、中国、ルーマニア、ドイツ、メキシコなど11か国のアーティストによる多彩なプロジェクションマッピング作品が披露された。特に、市民の願いが込められた「ウィッシュユライト(願い事のボール)」がクァンファムン(光化門)広場を彩り、プログラム参加費用の全額を寄付して、年末年始に温もりを分かち合った。

31日(火)夜に開かれた「除夜の鐘つきイベント」では、公演や音楽のない厳かな雰囲気の中、鐘つきのみが行われ、人々の胸に響いた。鐘をついた瞬間、ボンガク(普信閣)の後ろから直径30mの「正午の太陽」が昇るシーンを演出して、静けさの中で新年の希望を伝えた。

海外メディアによる熱い取材も続いた。カタール(アルジャジーラ)、中国(新華社通信)、日本(NNA)など主要外信が、ソウルウィンターフェスタを「安全で活気に満ちたソウルの冬を満喫できる代表的なお祭り」と伝えた。





2024ソウルウィンターフェスタ・クァンファムン(光化門)の全景
(写真提供:(財)ソウル観光財団)



2024ソウル・ランタンフェスティバルの全景
(写真提供:(財)ソウル観光財団)



2024除夜の鐘をついた瞬間に昇った直径30m規模の「正午の太陽」



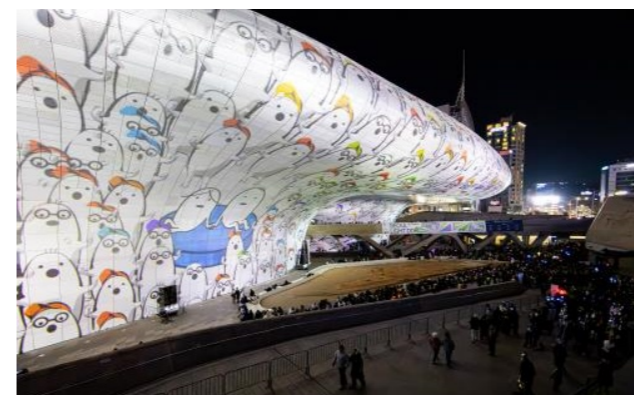
鐘つき開始前に哀悼と黙とうをする市民ら



クァンファムン(光化門)マーケットを楽しむ市民ら



2024ソウルライト・クァンファムン(光化門)の全景



2024ソウルライトDDP冬
人生録音中の「あなたの日常にCheers!」
(写真提供:(財)ソウルデザイン財団)



DDPカウントダウンイベントに参加した市民ら
(写真提供:(財)ソウルデザイン財団)

年度別の「ソウルウィンターフェスタ」観覧客数

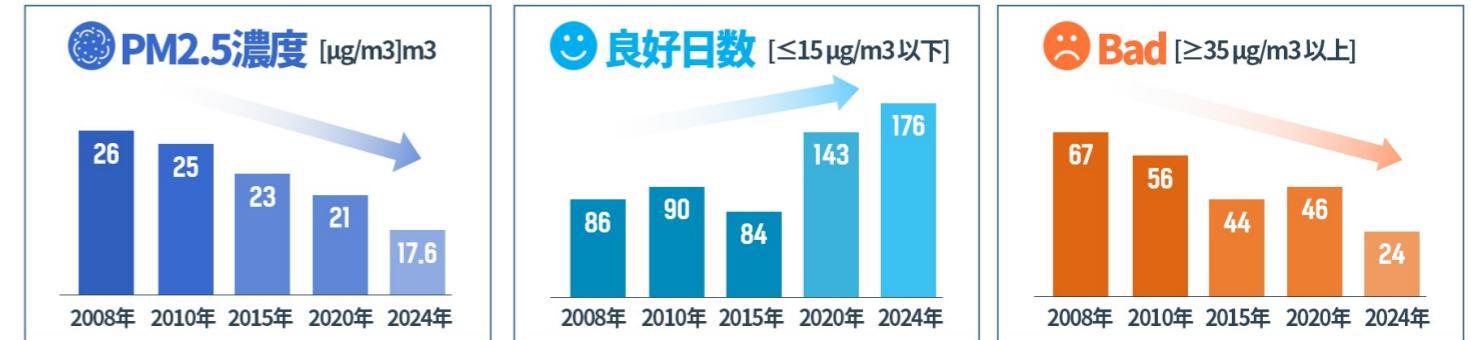
区分	2023 (2023年12月15日～2024年1月21日 38日間)	2024 (2024年12月13日～2025年1月5日 24日間)
総計	7,170,838	5,388,163
メディアアート/ランタンフェスティバル(小計)	5,651,956	3,600,664
ソウルライト・クアンファムン(光化門)	1,896,426	746,280
ソウル・ランタンフェスティバル	3,127,026	2,078,665
ソウルライトDDP	628,504	775,719
マーケット/アイスリンク(小計)	1,319,854	1,711,737
クアンファムン(光化門)広場マーケット	1,221,320	1,641,520
ソウル広場アイスリンク	98,534	70,217
除夜の鐘つきイベント	97,000	32,000
ソウルコン	102,028	43,762

2024年のソウル地域PM2.5(微小粒子状物質)濃度、観測史上最低を記録...「悪い」日数最低値

- 観測開始年比PM2.5「良好」日数が2倍以上に増加、「悪い」日数は約1/3減少
- ソウルの全市内バスをCNGバスに切り替え、老朽化したディーゼル車の早期廃車・ディーゼル微粒子除去装置の装着など52万台
- 冬季のPM2.5季節管理制稼働、排出ガス5等級車両の運行制限など低減対策を実施

□ 2024年のソウル地域の空気質は、2008年の観測開始以来最も良好だったことが明らかになった。微小粒子状物質(PM2.5)の年平均濃度は、2008年26 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ に対して約32%減少した17.6 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ であり、PM2.5が「良好」だった日は176日と、2008年の86日と比べ2倍以上の増加を記録した。「悪い」段階を超えた日数は24日で、約1/3の減少を示した。

※ 良好(0～15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)、普通(16～35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)、悪い(36～75 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)、非常に悪い(75 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以上)



□ ソウル市はまず、ソウル市内のディーゼル市内バスを圧縮天然ガスを燃料とするCNGバスに順次切り替え、2014年に全市内バスの「脱ディーゼル化」を実現した。

□ 2003年からは、排出ガス5等級ディーゼル車を早期廃車したりディーゼル微粒子除去装置(DPF)装着車両に補助金を支給する「老朽化ディーゼル車低公害事業」も実施している。現在までに、約52万台に対する措置が完了している。

□ 低公害措置が施されていない排出ガス5等級車両に対しては、グリーン交通地域の常時運行制限、PM2.5非常低減措置発令時にソウル全域運行制限を課す制度も施行中だ。

□ 同時に、2015年から一般ボイラーより窒素酸化物排出量が88%少ない家庭用エコボイラー約41万台、電気自動車・水素自動車11万台普及、建設機械電動化事業、事業所の大気汚染物質総量規制及び防止施設設置支援など、低減対策も引き続き推進している。

□ 特に、2019年12月から実施中の「PM2.5季節管理制」は、大きな役割を果たしている。「PM2.5季節管理制」期間中、低公害措置が施されていない全国排出ガス5等級車両は、平日午前6時から午後9時の間、ソウルを運行できない。運行が摘発された場合は、1日10万ウォンの過料が科される。(毎年12月～翌年3月)

□ その他にも、東風の流れ込み増加など気象条件の改善、中国北東部地域の空気質が改善した点も、PM2.5濃度が低下した原因に挙げられる。

□ ソウル市は今後も、市民に澄んだソウルの空を体感してもらえるよう、自動車、家庭、事業所、工事現場など発生源別の空気質改善対策に継続して取り組んでいく計画だ。

ソウル市、インフルエンザ予防のため全市民「マスク自律着用キャンペーン」実施...ワクチン接種の対象拡大

- 「私を守る選択、私たちを守る約束」ソウル、マスク自律着用キャンペーン実施
- ソルラル(旧正月)連休を控えた2週間(1月13日～1月27日)集中的に実施、地域社会への拡散を未然に防ぐ
- 高リスク群ワクチン接種、区立保育園・高齢者福祉施設・公共産後ケア施設の従事者向け支援を拡大

ソウル市が、インフルエンザ患者の急増を受けて、全市民を対象とする「マスク自律着用キャンペーン」を展開するなど、積極的な予防措置に乗り出した。同時に、高リスク群を保護するため、ワクチン接種対象の拡大を支援する。

ソウル市は、先週(12月第4週目)インフルエンザ感染の疑いがある患者が急増したことを受けて、2016年以来最大規模で発生しているインフルエンザの地域社会への拡散を遮断し、市民自らが感染病予防規則を実践できるよう、ソルラル(旧正月)連休前の約2週間(1月13日～1月27日)、「ソウル市マスク自律着用キャンペーン」を集中的に実施すると発表した。

<マスク自律着用の実践心得>

- ▶ 病院及び医療機関に来院するとき
- ▶ 公共交通機関(地下鉄、バスなど)を利用するとき
- ▶ 感染に弱い場所を訪問するとき
- ▶ 大勢の人がいる密閉空間を利用するとき

また、ソウル市は、高リスク群が利用する自治区の区立密接接触施設の従事者にまで、インフルエンザ予防接種の支援を拡大する。無料接種の対象を、生後6か月以上～13歳以下の子ども、妊産婦、65歳以上の高齢者から、区立保育園、区立高齢者福祉施設、公共産後ケア施設の従事者にまで拡大して、インフルエンザの感染を最低限に抑える。予防接種は、2025年4月30日まで実施される。

対象者は、ソウル市内の委託医療機関4,594か所を訪れ、身分証明書と証明書類を提示すると予防接種を受けられる。詳細については、予防接種トウミホームページ(<https://nip.kdca.go.kr>)にて確認できる。

*外国人登録番号がある外国人も対象に含まれる。

<インフルエンザの感染拡大を受けて、ソウル市は「マスク自律着用キャンペーン」を2月10日まで延長>

- ・ソルラル連休中の拡散防止のため、マスク自律着用キャンペーンの期間を2週間→4週間(1月13日～2月10日)に延長
- ・市民の自発的な感染症予防への協力、市民参加を促し地域社会への感染症の広まりを防止



月間ソウル:2月 南山



日常の中で楽しむソウル旅行!
ソウルの美しい風景写真をスマホやパソコンの壁紙としてご活用ください。

毎月カレンダーを無料でダウンロードできます!

南山



ソウルの中心で明るく輝く<南山ソウルタワー>

南山ソウルタワーは、過去40年間ソウルの中心を守ってきた韓国初の総合電波塔です

今は市民の憩いの場であり、外国人観光客の観光名所として定着しています！
ソウル都心の昼と夜を一望できる展望台や愛の錠で有名なテラス空間など、見どころ満載の南山！

今年11月までの日没後に街路樹の緑色が込められた2025年ソウル色の'グリーンオーロラ'に染まった南山ソウルタワーをご覧ください

また、南山タワーを囲む南山トゥルレギルは韓国の歴史と南山の自然環境と一緒に楽しむことができ、四季折々の魅力を見せてくれる美しい場所です



歴史と自然, 文化が共存する南山ソウルタワーと南山トゥルレギルからソウルを満喫してください~

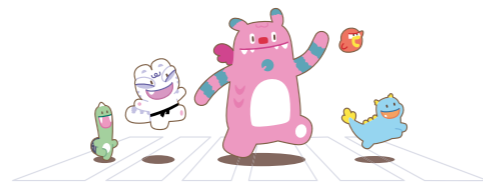
- 住所: ソウル特別市龍山区南山公園キル105

- 展望台営業時間: 平日10:00~22:30, 週末/祝日10:00~23:00



2月：イベントカレンダー

*2025年から隔月でお届け



[ソウル市がご提供する文化芸術プログラム]

1月のコンテンツアワード



1月、ソウル市外国語ホームページでもっとも役に立つコンテンツを1つお選びください。本イベントに参加された方の中から抽選で50名様にAmazonギフト券を贈呈いたします。

- ・ イベント期間：2025年1月31日(金)～ 2025年2月14日(金)
- ・ 当選者発表：2025年1月24日(金)



Amazonギフト券(10ドル) (抽選で50名様に贈呈)

<p>1</p>  <p>모세훈 서울시장 2025 신년사</p> <p>2025年ソウル市長 新年のご挨拶</p>	<p>2</p>  <p>2025年(乙巳の年) 솔라라(旧正月)連休 に関する総合情報案内 2025年1月28日(火)～1月30日(木)</p> <p>솔라라(旧正月)連休に関する総合情報案内</p>	<p>3</p>  <p>2025年ソウル市民保険</p>
<p>4</p>  <p>2025年 주요업무·이벤트계획</p> <p>[刊行物] ひと目で見るソウルの年間イベント</p>	<p>5</p>  <p>2025년 서울년의 연중行事 및 기념일 · 記念日</p> <p>[文化カレンダー] 2025年の記念日と主なイベント</p>	<p>6</p>  <p>1月 今月のフォト・ウィンターフェスタ</p>

イベントに参加する



Publisher
Seoul Metropolitan Government



COPYRIGHT © SEOUL METROPOLITAN GOVERNMENT. ALL RIGHTS RESERVED.

Webmaster | Contact [Domestic] 02-120 or 02-731-2120 | [International] +82-2-731-2120 | Cancel subscription